

ボランティアの先生を紹介します

VOL
18

M. 高瀬先生 (女性)

先生は、現在青山学院大学の4年生に在籍しております。先生は大学入学と同時に本校のボランティアを引き受けてくださいました。本校で子ども支援のボランティア活動をする理由は次の2つだそうです。1 以前から子どもに関わる活動に興味があったこと。2 子ども達個々の良さや素晴らしさに活動を通して実感したかったから。

子ども達に寄り添いながらの見守り、学習指導、相談とオールマイティの高瀬先生は、特に女子児童や女子中学生には人気が高く、お姉さんボランティアの存在は貴重です。先生は、早くも大手電気メーカーへの就職内定も決まり、最後の大学生活とひまわりボランティアに充実した日々を過ごしているようです。趣味は、野球観戦(ベイスターズファン)と映画観賞。磯子区から1時間半をかけてのひまわりボランティア勤務です。

ひまわり農場だより

現在は夏野菜本番です。キュウリ、ナス、トマト、はもとよりシシトウ、ピーマン、インゲン、ニラ、ズッキーニ、タマネギ、ミント、等 無農薬、新鮮野菜を毎日廉価で販売中です。陸ガメのチャップル君もウコッケイ達も元気に夏を楽しんでおります。皆さん、遊びに来てください。



ひまわりの現況

開校日：月・水・金・土 / 10時～14時30分

生徒数：(約)60名 / 支援者数：(約)20名

時程：10時開門(学習)、12時昼食(食後レク)、12時半(校長タイム)、1時15分(フィールドタイム)、2時半(帰りの会)(下校)

通信制：ゲームから教科学習までひまわり目線の指導

ボランティア募集

内容：子どもの見守り、学校事務など

条件：週一回以上勤務可能な方

以上のような方を特に求めています。

*ご質問・見学・ボランティアご希望の方は、
渡辺(090-9201-3992)までお気軽にお問い合わせ
ください。

最新情報はホームページ <http://himawari-school.jp/>
と Facebook にてアップデートしています。

ボランティアスクール「横浜みどりの学校ひまわり」



ふれあい

学校だより 2023年7月号 No.60

こんな学校があってもいいかも
(既存の教育にとられない学校)

ひまわりは、さつきが丘小学校の元校長が開設した全員が手弁当のボランティアスクール(私塾)です。「公立学校で苦戦する子どもたちを公立学校ではできない手法で支援する」「地域の子どもは地域で育てる」「金のかからない教育」などを掲げて、11年前に開設されました。

オープンエンドクエスチョンの苦手な子ども達

校長 渡辺 正彦

毎日行われる「校長タイム」は、ひまわりでの数少ない一斉指導の時間です。「校長タイム」の時間は SST (ソーシャルスキルトレーニング) を中心にして、社会生活を行う上でのスキルを学ぶ時間です。この話し合いでは子ども達の座る位置や相手の顔を見て話す、相手の話は最後まで聞いてから自分の意見を言う等、コミュニケーションを高める色々な決まりがあります。話し合いは小学校低学年から中学3年生までの異学年混合で行われます。子ども達の知的能力は概して高く IQ (知能指数) が 120 以上の者や難関校に在籍する者(していた者)もおります。彼等に共通することは、学校生活不適応や人間関係の構築が苦手なことです。ある日の校長タイムでの校長の質問は、「今、君達が思っていることは何ですか。自由に発言して下さい。」でした。すると先程まで元気に雑談をしていた子ども達は皆だまり込んでしまいました。時間を経ても誰の発言もありませんでした。彼等は「オープンエンドクエスチョン」が苦手なのです。「オープンエンドクエスチョン」とは回答に制約を設けない自由な質問です。そこで校長は質問を変えて「今、君は学校に行きたいと思っておりますか。」と具体的に制約をつけた質問をしたところ彼等から溢れんばかりの回答が返ってきました。高IQで優秀な彼等の特性は「オープンエンドクエスチョン」は苦手で、より具体的な質問であるクローズドクエスチョンの方が得意なのです。目前の課題や具体的な課題への取組は得意だが、抽象的課題や創造的な課題は不得意なのが特性なのです。学校不適応や不登校の一因はこんなところにあるのです。公教育を始めとする学校教育の中で彼等の特性を認めて、彼等の能力を有効活用することは、日本の将来にも関わる喫緊の課題なのです。今横浜みどりの学校ひまわりでは、私が公立学校の学級担任時代と校長時代に出会った2つの経験をもとにマイノリティの子ども達の支援を試みております。

<経験その1> 4年生男児のその子どもは、勉強と運動、人間性に卓越した子どもであり、クラスのリーダーでした。ある日の清掃時間に彼は自分の担当のほうきを持ったまま困惑しており、周囲の子ども達は、彼が掃除を怠けていると私に訴えてきた。状況から彼の困惑が怠けなどではないと判断した私は、彼の掃除分担場所の床を具体的にチョークで記して、彼が掃く手順まで具体的に示して支援すると、彼は目標に向かい熱心に取り組むことができました。(目標の具現化的支援)

<経験その2> 20代後半のその先生は、指導が上手で子どもと保護者からの信頼も厚く、職場においても若手教員のホープでした。唯一の欠点は提出物を期限内に提出できないことでした。その日も学年主任が提出締切りの「あゆみ」の提出を彼ができていないと私に訴えてきました。早速彼を校長室に呼び、理由を尋ねるも涙を流すばかりでした。そこで私は「あゆみ」の提出日を細かく刻み、1日6人の児童分の「歩み」を提出するように提案したところ彼はこれを見事に達成することができました。(目標の分割化的支援) 持って生まれた個性や特性の根本からの改善はできません。それは自分らしさとして生涯持ち続けます。そんな時にこそ周囲の者の理解や僅かな工夫で彼等はその卓越した能力を発揮して社会に貢献してくれることでしょうか。横浜みどりの学校ひまわりは、そんな子ども達の成長を信じて今日も頑張りたいと思います。

こんなことしました！（活動報告）

ラベンダースティック作り <6/28>

本年も鍼灸・アロマ・ヨガ部会主催のラベンダースティック作りが行われました。当日は、大人も子ども達もラベンダーの香りの中で熱心に作業ができました。



七夕会 <7/3>

子ども達それぞれの願いを短冊に！「ひまわり七夕まつり」をしました。



ヨガ・研修会 <7/15>



ボランティア研修会、ひまわりヨガ、進路情報交換会がしらとり台自治会館をお借りして多数の参加者を得て開催しました。

水鉄砲 <7/12>

酷暑の続く中でフィールド活動（屋外活動）を急遽変更して水鉄砲対戦をしました。小さなフリースクールではの臨機応変の活動です。



養鶏部会懇親会 <7/1>

本校の保護者とボランティアでつくる専門部会の1つである「養鶏部会」の懇親会が開催され、参加者は鶏愛と子育てについて暑く語り合いました。

ふれあいレストラン <7/22>

今月のふれあいレストランは、夏のひまわりカレーとひまわり農場産の野菜を使用したフレッシュサラダでした。美味しい昼食に活力がわきました。



除草大会 <7/8>

雑草に占領されかかっている「ひまわり農場」の野菜の救出に子どもと大人が立上がり、「除草大作戦」が実施されました。



こんなことしてみます！（活動計画）

校長タイム 校長タイムは毎日実施されるソーシャルスキルのトレーニングです。

① ディキャンプ

夏の1日、夕涼みを兼ねてひまわり農場で自然観察と夕食会を予定しています。夏の思い出づくりが出来れば素晴らしいと思います。

② マインドフルネス

普段は元気な活発な子ども達が瞑想して無我の境地に。

③ ディベート

異学年のチームを編成して賛否両論の論戦が交わされます。

トピックス

フードバンク神奈川を介して沢山の菓子パンを今月もいただきました。



妊婦薪割り

青葉区にあるバース青葉助産院の妊婦による薪割りは開校間もなくより続いており、過去にはテレビ報道もされました。今月も妊婦さん達の元気な薪割り姿が見られました。ガンバレ妊婦さん。ひまわりは、胎児から子どもを応援しています。

外部諸団体との連携

- 放課後等デイサービス経営者が本校視察
発達障がいなどの子ども達の居場所として国から認定されている施設である放課後等デイサービスの経営者が校長の講演を聴いて、視察と意見交換に来校しました。（7月）
- 公立小学校の中堅教員が本校で研修
公立学校の明日を担う中堅教員に対する研修場所として本校が選ばれて教員に対する研修が行われます。マイナリティーの子ども達への理解を深めて欲しいものです。（8月）
- 横浜市教育委員会のSC(スクールカウンセラー)の皆さんの視察と研修が本校で行われます。本校の存在にSCも注目です。（8月）



公益財団法人 こどもオポチュニティーズクラブから夏の支援品提供がありました。